

**第100回新生ふくしま復興推進本部会議**  
**第18回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議 合同会議 議事録**

- 日時：令和2年12月25日（金）11：08～11：16
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

**【鈴木副知事】**

それでは、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、議題「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）」について、企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料1を御覧ください。「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）について」御説明します。1ページを御覧ください。総合計画の進行管理はPDCAサイクルにより進めており、令和2年度の施策取組状況について、総合計画審議会からの提言を踏まえ、県の対応方針を決定したいと考えております。まず本県の復興・創生を進めていく大前提として、新型感染症への対応ですが「県民の安全・安心の確保」と「社会・経済活動の回復・再生」の取組を両輪で進めるとともに、「行政のデジタル化」や「県民の心のケア」など、しっかりと対応していきたいと考えております。

2ページを御覧ください。新型感染症への対応に全力を挙げて取り組むことを前提として、その上で、令和3年度は第2期復興・創生期間の初年度の重要な節目であり、次期総合計画に向けた過渡期でもあることから、県政運営を切れ目無く進める上で必要な施策を「重点施策体系」として決めました。重点プロジェクトについて、8つのプロジェクトとして整理しましたので御確認をお願いします。

3ページを御覧ください。各分野における審議会からの提言、それに対する県の対応方針と関連する主な重点プロジェクトを記載しています。例えば、人と地域分野の「3 地域活性化の推進」の（2）については、県の対応方針として、テレワーク環境の充実や副業人材による関係人口の創出などによる将来的な移住・定住に繋がる取組を進めていきたいと考えております。

4ページを御覧ください。活力分野の「2 県内産業基盤強化」については、県の対応方針として、福島イノベーション・コースト構想の司令塔となる国際

教育研究拠点の整備に向けた取組を進めながら、新産業集積と県内事業者の持続可能な事業展開の支援を進めていきたいと考えております。

なお、本日の案が決定となりました後は、各部局において当初予算への反映を行い、審議会に対して、反映状況を報告する予定です。

#### 【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。なければ、本案を持って決定といたします。知事からお願いいたします。

#### 【知事】

去る11月18日、総合計画審議会から、24項目からなる意見をいただきました。

まず、新型コロナウイルス感染症は喫緊の課題であり、収束まで手をゆるめることなく対策を講じていかなければなりません。また、来年度は第2期復興・創生期間の初年度として重要な年となることから、復興を着実に進めることはもとより、ふくしま創生総合戦略に基づき、地方創生を切れ目なく前に進める必要があります。

審議会の意見を真摯に受け止め、職員の皆さん一人一人が知恵と工夫を凝らし、全庁を挙げて、来年度の施策の構築・実施に取り組んでください。

#### 【鈴木副知事】

次に、報告事項の1つ目「令和3年度政府予算案等」、それから2つ目「復興・再生のあゆみ」について、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

資料2-1を御覧ください。国の令和3年度当初予算案について報告します。政府予算対策については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインと直接対面とを適宜使い分けながら、国に対しあらゆる機会を捉え、知事を先頭に、本県の実情を丁寧に訴えてまいりました。

移住促進等を含む避難地域の復興・再生や、国際教育研究拠点の基本構想策定を始めとした福島イノベーション・コースト構想の推進、農林水産業を始めとした産業・なりわいの再生、県内事業者を支援するための税制特例措置など、本県の要望を踏まえた対応が図られました。右の欄に主な活用を掲げています。来年度予算等を有効に活用し、第2期復興・創生期間も切れ目なく本県の復興・

創生を進めてまいります。

資料2-2を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想関連予算及び税制改正について主なものをまとめたものです。令和3年度も引き続き、国や市町村、関係機関等と連携しながら構想の更なる推進を図り、浜通り地域等の復興、そして、福島の復興・創生につなげられるよう、しっかりと取り組んでまいります。

続いて、資料3-1横版の「ふくしま復興・再生のあゆみ」を御覧ください。8月に発行した第2版を更新したものです。4ページに移住・定住の話題や6ページに新オリジナル米「福、笑い」の話題などを新たに掲載しております。

なお、本資料の基礎資料となる資料3-2の「ふくしま復興のあゆみ」及び復興の状況を表す資料3-3の「新生ふくしま2020年に向けて～復興の軌跡～」も併せて更新し、今回公表いたします。

#### 【鈴木副知事】

この件について、何かありますか。なければ、知事からお願いいたします。

#### 【知事】

先日、閣議決定された政府予算案については、菅総理大臣、平沢復興大臣を始め各省庁に福島県の実情と要請を踏まえた対応をしていただきました。これは、各部長を始め、全庁一丸となって予算確保に向け、粘り強く取り組んだ結果であります。引き続き、福島の復興・再生を着実に進めていくよう、各部長それぞれの立場でリーダーシップを発揮してください。

この本部会議も、本日でちょうど第100回目の開催となりました。平成25年3月にこの会議を立ち上げた際には、復旧に向けた議論がようやくできるようになった、という厳しい環境にありました。それから間もなく8年、県民の懸命な努力や国内外からの温かい御支援によって、福島県の復興は、着実に前に進んでいます。

一方で、いまだ3万6千人を超える方々が避難生活を続けておられるほか、復興のステージが進むにつれて新たな課題も生じています。さらに、新型コロナウイルス感染症等の影響によって復興・創生が遅滞することがないように並行して取り組んでいく必要があります。

引き続き、課題解決に向けた挑戦を続け、県民の皆さんが復興を実感することができるよう、各部局が一丸となって、一つ一つ取り組んでいきましょう。

**【鈴木副知事】**

以上で、合同会議を終了いたします。